

今更ながら、されどシャンソン —フランス語授業への活用

La chanson encore et toujours : son utilisation en classe de FLE

石丸 久美子

ISHIMARU Kumiko

Université des études étrangères de Kyoto

k_ishimaru@kufs.ac.jp

1. はじめに

フランス語授業におけるフランス語の歌、シャンソンの活用については、これまでも本研究会で扱われてきた（西川 2012、AVOCAT 2013 等）。筆者もこれまで何年にもわたり、主に 1、2 年生の第二外国語クラスの授業内でシャンソンを用いてきた。そこで、個人的ではあるが、フランス語教育を初めてから 10 年を機に、これまでの試行錯誤から気づいたこと、得たものを今回まとめてみたい。

2. シャンソンの有用性

授業でシャンソンを用いる利点としては、以下が挙げられる。1) documents authentiques を用いた授業を行え、フランス語圏の生の雰囲気が伝わる。2) 既習事項、特に文法事項の確認ができる。3) 社会・文化的知識獲得に役立つ。現代社会、若者社会に学生は興味・関心を持つことから、身近に感じられる。4) フランス語のリズム感に慣れることができる。発音練習になる。反復練習ができる。5) 楽しく学習できる。90 分の授業中の気分転換になる。学習意欲の向上につながる。6) YouTube 等を用いて、後日自ら聞いたり、入手したりすることができる。

3. 受講学生の感想から

シャンソンを用いた授業に対して、学生達はどのような印象を持っているのか。アンケート調査への回答は以下の通りで、概して好意的であった（以下、下線は筆者による）。上記の 1) や 3) に関する答えとしては、「毎回フランスの音楽が聞けて楽しかったです。」「フランスの音楽はまったく知らなかったので色々聞けて良かったです。」「音楽や映像を使った授業は関心を持てる部分が多かったのでよかったですと思います。」「映像や音楽でフランスに触れられるというのもよかったですと思います。」というものがあつた。5) の 90 分と長時間の授業の気分転換になるという意見も多かつた。「間に歌をきいたりして息抜きを入れてくれたのはとても良かったですと思います。」「先生の授業の間に曲を聞くことはとても良いリフレッシュで良かったです

す。」「授業中の気分転換としてフランスの音楽を聴けて良かったです。」「歌を聞いて穴埋めをする問題があったりと生徒にあきさせない面白い授業でとても良かったと思います。」さらに、気分転換どころか、「音楽はリラックスになりとても良かったと思います。」「先生は授業の合間に歌とかをはさんでくれるのでそれが癒しでした。」という意見もあった。日々、授業や部活、バイトで忙しい学生達にとって、リラックスや癒しだと感じられ、「フランス語学習イコール^{イコール}、=心地良い」に通じるのであれば、これも学習意欲の向上につながると思われる。2)既習事項の確認や4)リズム感、反復練習から暗記に役立つという点では、「*me te se, me te se, nous vous se* という歌も暗記に役立っていました。」「何個か頭から抜けない曲があります。」「*On savait* が頭から離れません (笑)」といった意見が見られた。さらには、学生から教師に対して、「YouTube で *African in Paris (Un Africain à Paris)* で調べてみてください。おすすめのフランス song です。」というアドバイスをするコメントも見受けられた。

4. どのような曲を選ぶか

シャンソンを用いるにあたって、どのような選曲をするべきであろうか。筆者は、以下の5点を基準として選曲を行っている。1) 既習事項、特に文法項目の確認と定着を目指して選択する。2) 繰り返しの多いもの。フランスの伝統的な歌、童謡、なるべく簡単な語彙のポピュラーソング等、簡単な単語・言い回しが多用されているもの。映像から意味を想像しやすいもの。3) 文化紹介がなされているもの。フランコフォニーについての知識を深め、多文化理解を促すためにもフランスのみでなく、その他のフランス語圏のものも参照する。4) 英語、日本語曲のフランス語版で親しみが持てるもの。(例: *Vive le vent!*、*Comme d'habitude*、クレモンティエヌが歌う日本のアニメ、ジブリ映画曲のフランス語版) 5) シャンソンではないが、簡単な詩(例: Jacques Prévert の詩)

5. どのように提示するか

入手したシャンソンをどのような形式の練習問題として学生に提示できるか、どのようなアクティビティにするかも大切である。これは使用するシャンソンの内容、語彙のレベル、アクティビティの目的(文法確認か文化紹介か等)によって検討する必要があると思われる。筆者は以下の4つの形式を用いている。

- 空欄穴埋めディクテ: 記述式、選択式
- 法、時制等を探して印をつけさせ、いくつあるか探すアクティビティ
- 歌詞を配る: 学んだ文法事項を強調し、注意して聞いてもらう。
- 単純に聞かせるだけ: 文化背景を説明。日本の曲のフランス語版。

6. 授業に活用できるウェブサイトや著作

シャンソンを授業で活用するにあたって、参考にできるサイトや著作を以下にご紹介する。ウェブサイトについては著作権法を順守していないと思われるものも多いため、ここでは公的な機関のものや無償で使用できると明記されているものをご紹介します。

ウェブサイト (最終閲覧日は全て 2016 年 5 月 9 日)

- Le CAVILAM : les CD annuels *Génération française* <http://www.cavilamenligne.com/chansons/>
カヴィラム=アリアンス・フランセーズのサイト。若手ミュージシャンのコンピレーション CD を毎年出しており、そのフランス語曲の教材 *fiches pédagogiques* がヨーロッパ共通

参照枠レベル別に提供されている。

- TV5 Chansons francophones Paroles de clips
<http://enseigner.tv5monde.com/collection/paroles-de-clips>
テレビ局 TV5 のサイト。フランス語圏アーティストの曲のヨーロッパ共通参照枠レベル別 fiches pédagogiques とビデオクリップ映像が提供されている。2 週間毎に新しいアクティビティが追加されている。
- Wheaton college (Norton, Massachusetts) VIVE VOIX : ANTHOLOGIE SONORE DE POÉSIE
<http://wheatoncollege.edu/vive-voix/>
アメリカ、ウィートン・カレッジのサイト。フランス詩の朗読が多く紹介されている。
- TFO (la chaîne télé francophone de l'Ontario) <http://www.tfo.org/fr/jeux>
カナダ、オンタリオ州の教育番組局のサイト
Mini-TFO <http://www.tfo.org/fr/enfants>
カナダ版『おかあさんといっしょ』とも言えるような、TFO の中の子ども番組のサイト。フランス語の伝統的な曲、童謡が映像で沢山紹介されている。
- OFFICIAL SITE OF Étienne & DJ DELF <http://www.educorock.com/index>
カナダ人のフランス語教員兼歌手。フランス語学習・教育用の自作の歌が紹介されている。
例：Étienne, Les verbes pronominaux (« me te se song »), CD : *C'est le temps*
<https://www.youtube.com/watch?v=UpSO6Sst7Ac> 再帰代名詞を覚えるための曲
- MONDE DES TiTOUNiS <http://www.mondedestitounis.fr/index.php>
子供向けの童謡やお話のサイト。一人の母親によって作られたサイトだが、映像が豊富。

著作

- 佐藤篁之監修 (2015) 『フレンチ・ポップ (ディスク・コレクション)』、シンコーミュージック。60 年代から 2000 年代以降までのフレンチ・ポップのディスク・ガイド。ただし、あくまでもディスク紹介本で、CD は付いていない。
- 杉村裕史 (2008) 『ポップ・フランセーフレンチポップスで学ぶフランス語』、駿河台出版社。タイトル通り、フレンチ・ポップスでの学習を目指した教科書。筆者も多く参照した。
- 大野修平、野村二郎編著 (2003) 『シャンソンで覚えるフランス語-1』、(2004) 『シャンソンで覚えるフランス語-2』、(2005) 『シャンソンで覚えるフランス語-3』、第三書房。CD 付きで、伝統的なシャンソンが詳細に説明されている。
- J. C. ドゥマリ、長野督、西山教行、L. J. カルヴェ共著 (1997) 『ヌーヴェル・シャンソンで楽しむ 現代フランス語スケッチ』第三書房。シャンソン、ポップスを素材にした教科書。CD 付き。ただ、授業中に短時間で扱うのは難しいと思われる。
- 福井芳男 (1994) 『新訂 フランス語で歌いましょう—発音のてびき—』、第三書房。伝統的なフランスの民謡、童謡を集めている。発音説明が詳しい。

7. 実践例：筆者の授業で用いた曲目リスト

後掲。アトリエでは、筆者が実際の授業で用いた曲目リストを提示し、その中のいくつかの曲をご紹介します。それぞれの曲は主に文法事項別に分類している。

8. おわりに：アトリエ参加者間での意見、アイデア交換

RPK2016 のアトリエにご参加頂いた皆様に、授業でどのような曲を用いているか、どのよう

に提示し、どのような工夫をしているかを話して頂いた。非常に活発な意見交換が行われ、筆者にとっても有意義な時間となった。お勧め曲のご紹介の他、フランスで生まれたクリスマスソングは意外に少なく、例えば、*Petit Papa Noël* は貴重なフランス生まれの曲で、元は映画の中で用いられた曲である等の文化的エピソードを語るのも良いというご意見、基本動詞を替え歌として、有名な曲のメロディーにのせて覚えてもらうなどのアイデアも披露された。

筆者が授業で使用してきた曲目リスト

文法項目	曲目、説明その他
アルファベ	<i>La chanson de l'alphabet</i>
数字	<i>La chanson des chiffres</i>
名詞の男性形・女性形	<i>Au claire de la lune (traditionnel)</i>
-er 動詞、疑問文、命令形	<i>Frère Jacques (traditionnel)</i>
動詞の原形	<i>Aimer (Sylvie Vartan)</i> Sylvie Vartan (ブルガリア出身、現役で活動中) について。CM でよく使われている他の曲を同時に聞かせても。
前置詞、定冠詞と前置詞の縮約形	<i>Les Champs-Élysées</i> オー・シャンゼリゼ (Joe Dassin) 日本で有名。《Aux Champs-Élysées》の「オー」は Oh ! ではないことを説明。カラオケに入っている。
-er 動詞、faire 動詞、中性代名詞 y	<i>Sur le pont d'Avignon (traditionnel)</i> アヴィニョンの町簡単な歴史説明。
être 動詞	<i>Poupée de cire, poupée de son</i> 夢見るシャンソン人形 (France Gall) 日本で有名。今でも CM 等で使われている。カラオケに入っている。
venir 動詞、所有形容詞 mon, ton、強勢形 moi, toi	<i>Tout, tout pour ma chérie</i> シェリーに口づけ (Michel Polnareff) 日本で有名。今でも CM 等で使われている。カラオケに入っている。 <i>Douce France (Charles Trenet)</i> Trenet について説明 (世界中で有名な歌手。「歌う狂人」と言われた等)。
人称代名詞	<i>Savez-vous planter les choux ? (traditionnel)</i> 代名詞の使い方と共に体の部位表現が学べる。
命令形	<i>La Marseillaise (hymne national)</i> 元は軍歌で 1795 年に国歌となったこと、歌詞内容説明。Serge Gainsbourg がレゲエバージョンを出し物議を醸したことを説明。
関係代名詞	<i>Garde-moi la dernière danse</i> ラストダンスは私に (Dalida) 日本で有名。英語版もある。Dalida について説明 (イタリア→エジプト→フランス帰化等)。
代名動詞	<i>Comme d'habitude (Claude François)</i> 日本では『マイ・ウェイ』として有名。Claude François について説明 (アイドルで、悲劇の最期。映画化もされた)。 <i>Les verbes pronominaux (Étienne), Voici ma routine (Mini-TFO)</i>
複合過去形	<i>J'ai perdu le do de ma clarinette (traditionnel)</i> クラリネットをこわしちゃった この歌がフランスの歌であることを説明。《J'ai perdu》の所を覚えてもらう。《Aux pas, camarades》の意味説明。 <i>Elle m'a dit (Cali)</i> 細かい訳は説明せず、とにかく《Elle m'a dit》の歌詞に気を付けて聞いてもらい、覚えてもらう。

	<p>Déjeuner du matin (Jacques Prévert) Jacques Prévert について。歌ではないが、有名な詩。映像も一緒に見せると良い。 http://wheatoncollege.edu/vive-voix/poemes/dejeuner-du-matin/ (朗読音声) https://www.youtube.com/watch?v=fnZCm3cOJ_s (YouTube 映像)</p>
半過去形	<p>On savait devenir grand. (La Grande Sophie) 選択式穴埋めディクテ</p> <p>Les feuilles mortes (Yves Montand 等) 歌詞は Jacques Prévert による有名な歌であると説明。 半過去形がいくつあるか探してもらおう。関係代名詞も多い。</p> <p>Nathalie (Gilbert Bécaud) Gilbert Bécaud について説明。ソ連を舞台にした歌。時代説明。</p>
単純未来形	<p>Alouette (traditionnel) カナダ発祥のフランス語の童謡。実は残酷な内容。日本では『やおやのお店』の歌として知られている。未来形と共に体の部位表現を学べる。</p> <p>Le temps des cerises (Cora Vaucaire 等) パリ・コミュンで亡くなった市民を追悼する歌。日本ではジブリ映画『紅の豚』の主題歌。</p>
最上級	<p>La plus belle pour aller danser アイドルを探せ (Sylvie Vartan) 日本で有名。CM 等でいまだに使用されている。Sylvie Vartan (ブルガリア出身、現役で活動中) について説明。</p> <p>Le plus beau du quartier (Carla Bruni) Carla Bruni (イタリア出身。スーパーモデル→歌手、大統領夫人) の説明。</p>
条件法	<p>Hymne à l'amour (Édith Piaf) Édith Piaf (フランスを代表する歌手。伝説的人生が映画化されている) について。「フランスの美空ひばり」みたいな有名人と説明。</p> <p>J'aimerais tellement (Jena Lee) « J'aimerais tellement »の繰り返しに注意して聞いてもらう。</p>
接続法	<p>Je ne serai jamais ta parisienne (Nolwenn Leroy) Nolwenn Leroy (ブルトン人、オーディション番組で優勝、デビュー) について説明。ブルターニュ文化、ブルトン語について説明。同時に、ブルトン語の短い曲を聴いてもらう。</p> <p>Je t'emmène au vent (Louise Attaque) 接続法のところに注意して聞く。</p> <p>Pour que tu m'aimes encore (Céline Dion) 接続法のところに注意して聞く。Céline Dion がケベック人であることを説明。</p>
その他、文化紹介	<p>Saint-Denis (Grand Corps Malade) Grand Corps Malade について。Slam、パリ郊外について説明。歌詞内容を簡単に説明し、映像を見てもらう。歌詞は配らない。</p>
ノエルの曲 接続法 « Vive... » 単純未来形、命令形	<p>Vive le vent ! (traditionnel) 日本でもよく知られている曲なので、聞けばすぐに分かる。 歌詞は簡単に説明。« Vive le vent, vive le vent, vive le vent d'hiver », « boule de neige », « bonne année, grand-mère »に注意して聞く。</p> <p>Petit papa Noël (traditionnel) 歌詞は繰り返しの所のみ説明、注意して聞いてもらう。</p>

* 文法項目は学習対象のめやすであり、内容全てを網羅している訳ではありません。